

○施工技術に関する技術開発

九州地方整備局が保有する作業船並びに機械設備について、運用の効率化や品質・安全性の向上を目的とした技術開発を行っています。

近年、大規模災害による支援物資の輸送や航行船舶の支障となる大量の流木回収等、災害時の対応・支援について直轄作業船への期待が高まっていますが、【海翔丸】【がんりゅう】は耐用年数を超え、機器類の老朽化による信頼性低下の懸念があること、また、温室効果ガス削減に向けた取組みにも対応していく必要があります。更に、通常作業の効率化、災害支援機能の充実等を考慮し、次期建造船としての概念設計を令和4年度に行ったところですが、令和5年度に発生した能登地震への災害支援経験も踏まえ、令和6年度には災害支援機能の高度化に関する検討などを実施し代替建造に向けた準備を進めています。